

共同テーブル
2.21
第14回シンポ

「新しい戦前にさせない」連続シンポジウム

税金で育つ『死の商人』

武器で平和は創れない 日本製武器はウクライナやガザにも！

日本の武器生産や武器輸出が急速に進んでいることは、国会でほとんど議論にならずあまり知られていません。一昨年6月に制定された「防衛生産基盤強化法」は、税金を「死の商人」に投入して武器生産に本腰を入れていくものです。間違いなく武器輸出も増えていくことでしょう。日本製のミサイルは生産が追いつかない米国に輸出され、玉突きでウクライナ戦争にも使われます。こうした事態の行き着く先は9条改憲です。私たちは「武器で平和は創れない！武器は戦争を呼び込む」という現実を明らかにし、声をあげたいと思います。多くの皆様の御出席を、お待ちしております。

日時 **2月21日(金)** 午後6時15分～9時 (開場は午後6時)

会場 **文京区民センター3A会議室** 東京メトロ丸の内線・後楽園駅4b出口5分、都営・三田線・春日駅A2出口1分

主催 **共同テーブル** 資料代 **1000円**

申込先 多くの参加者が見込まれます。定員(300名)になり次第、申し込みを締め切りますので、大変恐縮ですが、至急、下記のメールアドレスまで、出席申込(氏名・電話番号記入)をお願いいたします。

E-mail : e43k12y@yahoo.co.jp

プログラム

主催者挨拶 **佐高 信** (共同テーブル発起人)



第I部 講演

纘纘 厚

(明治大学国際武器移転史研究所客員研究員)

「抑止力」強化の名目で進行する武器生産・輸出の全貌と欺瞞を明らかにし、「非武装」をめざし軍需に政治を左右させない展望を示す。



望月衣塑子

(東京新聞記者)

経団連防衛生産委員会、軍需企業・三菱重工業の策動など、取材に基づき、直近の癒着を暴きだす。



小野塚知二

(東京大学名誉教授)

軍需産業だけが利益をあげ、国民経済とは無縁である経済軍事化の本質を衝く。「防衛費」名目以外の産業政策を通じた税金投入による育成策も明らかに。



第II部 シンポジウムと会場との質疑応答

●コーディネーター **纘纘厚** ●パネリスト **望月衣塑子 小野塚知二**

共同テーブル連絡先： 藤田高景 090-8808-5000 / 石河康国 090-6044-5729

「新しい戦前にさせない」共同テーブル・アピール

暮らし(いのちき)は武器で守れない

暮らしを大分では(いのちき)と呼ぶ。いのちを連想させる味わい深い方言である。政府は憲法9条を捨てて軍備拡大に踏み出そうとしているが、それは生命を削り、暮らしを壊す道である。暮らしと軍拡は両立しない。戦火の消えないアフガニスタンで、中村哲さんは井戸を掘り、暮らしを建て直して平和を築こうとした。憲法9条を持つ日本の中村哲さんはそれまでフリーパスでアフガンを歩くことができた。しかし、イラクへの自衛隊派遣が、その平和のパスポートを奪う。だから、哲さんは国会で「自衛隊派遣は有害無益」と訴えた。軍隊が国民を守らないことは旧満州や沖縄の例で明らかである。

軍備に頼らない平和を求めるために、私たちは「安保三文書」を徹底批判する。暮らし(いのちき)か、軍拡か。三橋敏雄という俳人は「過ちは繰り返します秋の暮」と詠んだが、私たちは愚かな軍拡の道を選ばない。

2023年春

共同テーブル発起人

浅井基文(元広島平和研究所所長・政治学者) 安積遊歩(ピアカウンセラー) 雨宮処凛(作家・活動家)
植野妙実子(中央大学教授・憲法学) 上原公子(元国立市長) 大口昭彦(弁護士・救援連絡センター運営委員)
海渡雄一(弁護士) 鎌倉孝夫(埼玉大学名誉教授) 鎌田 慧(ルポライター) 金城 実(彫刻家)
瀧 厚(山口大名誉教授・歴史学者) 古今亭菊千代(落語家) 佐高 信(評論家) 清水雅彦(日体大教授・憲法学)
白石 孝(NPO法人官製ワーキングペア研究会理事長) 杉浦ひとみ(弁護士) 竹信三恵子(和光大名誉教授・ジャーナリスト)
田中優子(前法政大学総長) 鳥井一平(全統一労働組合・中小労組政策ネットワーク) 古田兼裕(弁護士) 前田 朗(朝鮮大学校講師) 宮子あずさ(随筆家) 室井佑月(小説家・タレント) 山城博治(沖縄平和運動センター顧問)

「共同テーブル」はこれから多彩なテーマとパネリストで、連続シンポを企画していきます
共同テーブルHPに、賛同申し込み書式があります。それに記入していただければご案内をメールでさしあげます。